

発

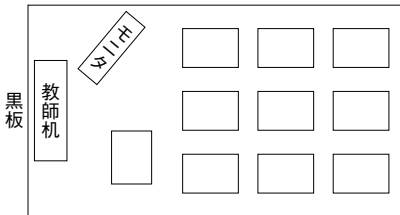
発 発想や構想について、主題のアイデアスケッチや構想を記したワークシート等を完成作品とあわせて見取り、最終的な評価を確定する。【アイデアスケッチ、ワークシート、完成作品】

6. 用具（準備）

教師：画用紙（八つ切り）、振り返りカード、ワークシート4種（ピクトグラムの学習用、アイデアスケッチ用、オリンピックピクトグラム紹介用、鑑賞活動用など）、パソコン、パワーポイント、テレビモニタ、画像データ・掲示物等（街中や学校内にあるピクトグラムの掲示物）、参考作品

生徒：鉛筆、ポスターカラー、筆洗、筆記用具

7. 教室配置



- ・4人が向かい合って1台のテーブルにつく
- ・モニタの見えづらい席がないか注意する
- ・必要なプリントは前の教師机にセットしやすく使えるようにする

8. 本時の指導

(1) 本時の指導目標

題材の「3. 指導目標」と対応し、その時間の学習内容に応じて必要なものを設定する。例えば、鑑賞の能力に関係しない授業ならば鑑賞に関する目標は書かなくてもよい。1時間の授業では確実な学力の定着を図るため、本時の指導目標を絞り込む必要がある。活動内容に応じた1つの目標と、その目標に向かう「主体的に学びに向かう姿勢」で十分であろう。複数入れ込むと散漫になることがあり、結果としてどの目標も中途半端になることがあるので注意したい。ただし、同時に関連して身に付く目標であるならば複数書く。

(2) 本時の評価規準

本時の指導目標について「4. 評価規準」と照らし合わせ設定する。

(3) 本時の展開

冒頭に必ずガイダンスを入れ、学習者が本時の学習のねらいと見通しを持てるようにする。次に、導入における教師の発問を吟味する。学習は教師の問いによって学習者の主体的な探究活動が始まる。

活動の内容によって「展開1」「展開2」などのように活動を区切って示す。

(4) 本時の準備

授業に必要なもの、準備するものを教師と生徒に分けて記載する。

(5) 板書計画

板書計画を図示し、黒板に掲示する題材名や目標、学習の流れ、学習のポイントなど、見やすくわかりやすい配置を考える。

8. 本時の指導

(1) 本時の指導目標

1) 「思考力、判断力、表現力等」に関する指導の目標

- ・自分の身の回りの環境を見つめ直し、目的や条件を基にアイデアスケッチにいくつかのパターンを描き出すなどして、多くの人に伝える価値のある主題を見つけることができるようにする。
- ・主題を基に、形を単純化したり強調したりして、画面構成の工夫を行い、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、ピクトグラムの構想を練ることができるようにする。

2) 「学びに向かう力、人間性等」に関する指導の目標

発想や構想の学習に向かう意欲的な態度を養う。

(2) 本時の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>発 身の回りの環境を見つめ直し、目的や条件を基にアイデアスケッチにいくつかのパターンを描き出すなどして、多くの人に伝える価値のある主題を見つけている。</p> <p>発 主題を基に、形を単純化したり強調したりして、画面構成の工夫を行い、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、ピクトグラムの表現の構想を練っている。</p>	<p>態表 身の回りの環境を見つめ直し、目的や条件を基にアイデアスケッチにいくつかのパターンを描き出すなどして、多くの人に伝える価値のある主題を見つけている。</p> <p>態表 主題を基に形を単純化したり強調したりして、画面構成の工夫を行い、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、ピクトグラムの表現の構想を練っている。</p>